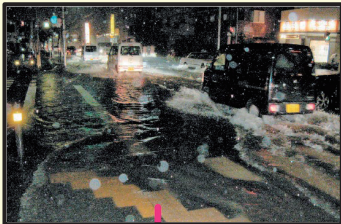


過去の浸水被害状況

戸田市では、下水道の排水能力を超える大雨により浸水被害が多く発生する事態となっており、特に被害が深刻な新曽地区北大通りの地下に雨水貯留管を整備することとなりました。



北大通り (平成27年9月)
最大降雨量 31.0mm/h



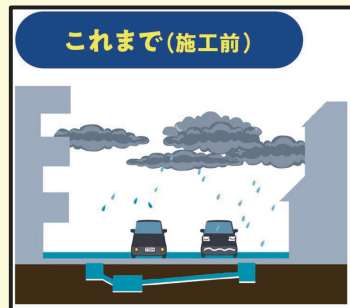
消防本部付近 (平成30年9月)
最大降雨量 48.5mm/h



戸田駅西口駅前広場 (平成28年台風第9号)
最大降雨量 65.5mm/h

雨水貯留管の効果

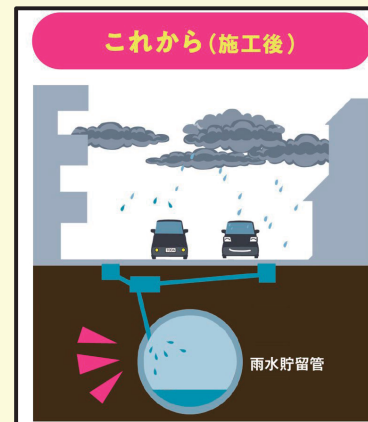
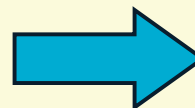
排水しきれず道路にあふれていた分の雨水が、側溝などを流れ雨水貯留管に一時的に貯まることで、浸水被害を軽減できます。



これまで(施工前)



地下に
雨水貯留管を
作ると・・・



これから(施工後)

雨水貯留管

雨の日も、安心して暮らせる街に。雨水貯留管、ついに完成！

整備箇所

令和3年度から新曽地区北大通りの地下で整備を進めていた、**内径6m、長さ約920m**の雨水貯留管が完成しました。
約26,000m³ (25mプール86杯分)の雨水を貯留することができます！



工法

シールドマシンと呼ばれる円筒型の掘進機で地下を掘り進めながら、セグメントという部材を組み立ててトンネルの壁を作る**シールド工法**により工事を行いました。

